

「タイム設定」ワークショップ 参加者募集中！

Tatsuo  
Miyajima  
Studio



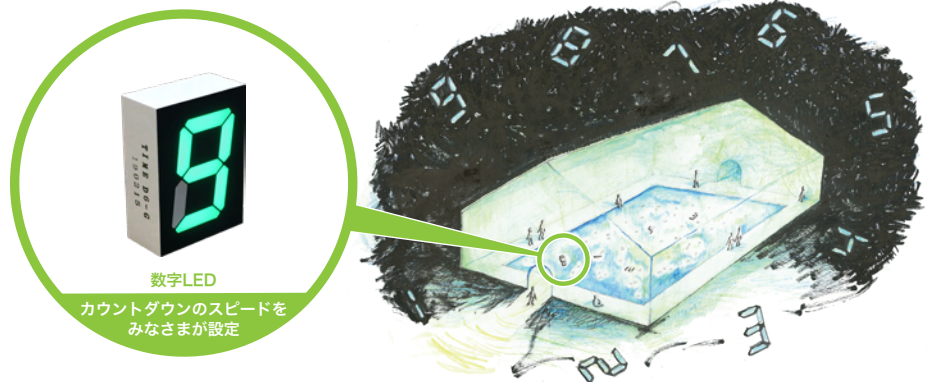
現代美術家  
宮島 達男

現代アート作品「時の海 - 東北」共同制作に参加しよう！

# タイム設定ワークショップ

2019年7月26日(金) 14:00-16:00 開催 (常時受付)

📍 十和田市現代美術館 市民活動スペース



数字LED

カウントダウンのスピードを  
みなさまが設定

参加者  
募集

詳細は裏面へ▶

お申し込みはこちらのQRコードから！

または、「お名前・電話番号・メールアドレス・参加人数」を [moffice@tatsuomiyajima.com](mailto:moffice@tatsuomiyajima.com) までお送り下さい。

参加費 無料  
参加条件

小さなお子様から大人まで、プロジェクトの主旨に賛同いただける方はどなたでもご参加いただけます。

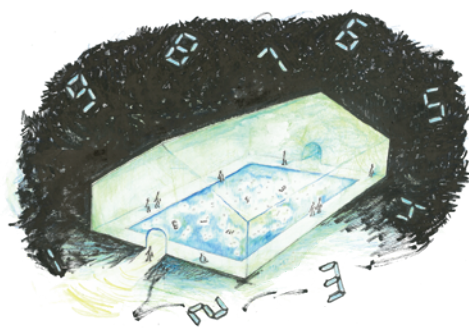


現代アート作品「時の海 - 東北」共同制作に参加しよう！

# タイム設定 ワークショップ



## 「時の海 - 東北」の作品制作について



「時の海 - 東北」は、現代美術家の宮島達男が東日本大震災の犠牲者への鎮魂と復興を願い、震災直後から計画を進めてきた、幅 30m×長さ 50m の巨大プールに 3000 個の数字 LED を設置することを目標としている作品です。この作品は被災されたみなさん、その想いに寄り添う多くの方々の参加によって実現する参加型作品です。数字がカウントダウンしていく LED のタイム設定をしていただき、みなさんの様々な思いを数字 LED のカウントするスピードに託していただければと思います。10年かけて3000人の方にタイム設定に参加してもらい、この数字 LED 3000 個が様々なスピードでカウントし続けて1つの大きな作品となります。宮島達男は、震災の記憶と鎮魂、未来への希望を表現できる作品を皆様と一緒に制作できればと願っています。

10年後にひとつの大きな作品となることを目指しており、最終設置場所はまだ確定していませんが、10年間のその過程でも数字 LED の一部を作品として可能な限り、展示していく予定です。2017年には Reborn-Art Festival の参加作品として 300 個の青色の数字 LED を宮城県牡鹿半島に、2018年には緑色の数字 LED 87 個を東京・六本木の森美術館で展示しました。また 2020 年にも東京の美術館での展示が計画されています。



お申し込みはこちらの QR コードから！

または、「お名前・電話番号・メールアドレス・参加人数」を [moffice@tatsuomiyajima.com](mailto:moffice@tatsuomiyajima.com) までお送り下さい。

参加費 無料

参加条件 小さなお子様から大人まで、プロジェクトの主旨に賛同いただける方はどなたでもご参加いただけます。

ご参加された方には  
「時の海 - 東北」  
参加証明書が  
発行されます！



主催・お問い合わせ：宮島達男スタジオ 協力：十和田市現代美術館

## 「タイム設定」とは？

数字 LED は 9~1 までの数字を様々なスピードでカウントをしています。

1 秒から 299 秒までの間でお好きな秒数を設定していただくことができます。

当日会場にて様々なカウントスピードのサンプルをご用意しておりますので、実際にご覧いただいてから設定することが可能です。

## 「時の海」とは？

宮島の作品には、「アートは今を生きている人々のために」という思いがこめられています。カウントする数字の LED を敷き詰めた「時の海」は 1988 年に制作された宮島の代表作でもあり、1998 年にはベネッセアートサイト直島にも設置されています。

この数字の LED は、9 から 1 へとカウントしており、0 は表示されず消灯します。そして、また 9 から 1 へとカウントを繰り返します。

カウントしている時間は「生」を、0 の暗闇になる時間は「死」をあらわし、その「生」と「死」が永遠に繰り返され、「生命の輝き」を表現しています。カウントするスピードが異なるのは個々の生命の個性を表しています。



## 宮島 達男 | Miyajima Tatsuo

現代美術家

1986 年 東京藝術大学大学院修了。1988 年ヴェネツィア・ビエンナーレ、新人部門に招待され、デジタル数字を用いた作品で国際的に注目を集める。以来、国内外で数多くの展覧会を開催。世界 30 カ国 250 か所以上で作品を発表している。2006-2016 年 東北芸術工科大学副学長。2012-2016 年 京都造形芸術大学副学長。代表作に「メガ・デス」など。また、長崎で被爆した柿の木 2 世を世界の子供もたちに育ててもらおう活動、「時の蘇生・柿の木プロジェクト」も推進している。